

消防の広域化

足柄上地域の常備消防を

小田原市に業務委託

小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町と真鶴町の2市6町で構成する神奈川県西部消防広域化協議会では、これまで県西部地区の一体的な消防行政の実現（消防の広域化）に向けて検討・協議を進めてきました。24年1月30日に開催された協議会で、各市町の首長により

広域消防の運営に係る43項目の協議事項が同意されました。これを受けて松田町議会では、3月定例会で消防の広域化を前提とした足柄消防組合の解散について議決しました。今後は、来年3月末の消防広域化の実現に向けて準備を進めていくこととなります。

①求められる充実強化

近年、災害が大規模・多様化し、また救急を中心に出勤要請が増大する一方、本格的な少子高齢社会を迎えるにあたって、住民の生命、身体、財産を守る消防体制の充実、強化がより一層求められています。

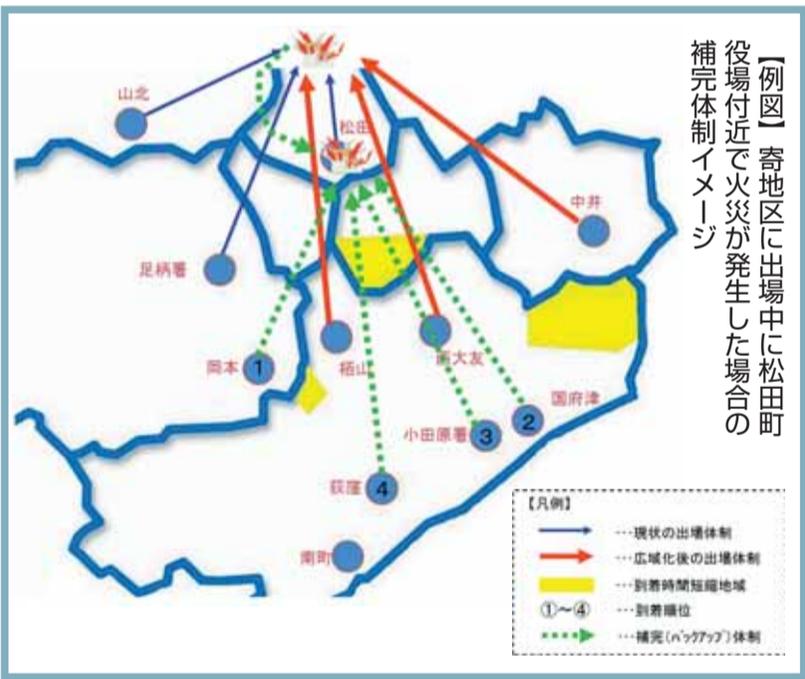
②2市6町で協議重ね

県西部地区2市8町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町と湯河原町）では22年度から神奈川県西部広域行政協議会で、消防の広域化による質の高い消防サービスを提供できる体制について調査検討を進めてきました。23年8月8日は、箱根町と湯河原町を除く2市6町で神奈川県西部消防広域化協議会を組織し、この協議会において具体的な広域化の方式などについて協議を重ねてきました。



大容量泡放射システムを兼ね備えたポンプ車

広域化により、特殊車両や高機能な資機材の整備が期待できます



【例図】寄地区に出発中に松田町役場付近で火災が発生した場合の補完体制イメージ

③消防本部は

小田原の前川に

○広域化の方式

小田原市への事務委託（足柄消防組合を解散して町が小田原市との間で常備消防業務を委託する契約を締結する予定）

新たに2社の緊急速報メールを導入

昨年11月からNTTドコモの災害時の緊急速報「エリアメール」を導入しましたが、引き続きソフトバンクとKDDIの「緊急速報メール（※）」が利用可能になりました。災害時に、町が配信する防災情報メールを受信し、お役立ていただけます。

※気象庁が配信する「緊急地震速報」や、国、地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを、対象エリアにいる利用者の携帯電話などにメール配信するサービスです。緊急速報メールの情報料・通信料とも無料です。月額使用料もかかりません。ただし、受信対応機種が限られていますので、詳細はソフトバンク、KDDIのホームページなどをご覧ください。

【問合せ】庶務課防災防犯係 ☎(83) 1221

○消防本部の位置

小田原市前川1-83-18（現在の小田原市消防本部）

○消防本部の名称

小田原市消防本部

④広域化により

期待できる効果

①消防出動体制の強化

これまでの管轄区域にとらわれずに出動区域を見直すことで、現場到着時間の短縮や初動体制の強化やバックアップ体制の充実を図ることができると期待されています。特に寄る山間地域や東名高速道路を抱える松田町にとっては、複数災害時のバックアップ体制が強化されることは大きなメリットとなります。

②消防体制の高度化

組織が大きくなることで職員の効率的な配置が可能となり、より高度な教育を受けた隊員の育成や機材の

③財政運営の効率化

財政規模が大きくなることで、重複投資の回避や高機能な資機材の導入ができることから、効率的な財政運営が図られます。

【問合せ】

庶務課防災防犯係

☎(83) 1221

企画財政課企画係

☎(83) 1222